

『子どもが欲しいと思った時に知っておきたいリアル』 津田塾大学生らによる学生団体「Tsuda Outreach」と共同で、 学園祭にて若年層向けに不妊・不育啓発を展示

不妊治療患者をはじめ不妊・不育で悩む人をサポートするセルフサポートグループ「NPO 法人 Fine（ファイン）」（以下「当法人」）は、社会課題の解決に取り組む津田塾大学生らによる学生団体「Tsuda Outreach」と共同で、11月19日～20日に行われた第6回津田ヶ谷祭（津田塾大学学園祭）にて不妊・不育に関するパネル展示「子どもが欲しいと思った時に知っておきたいリアル」を行ないました。

津田ヶ谷祭での出展目的

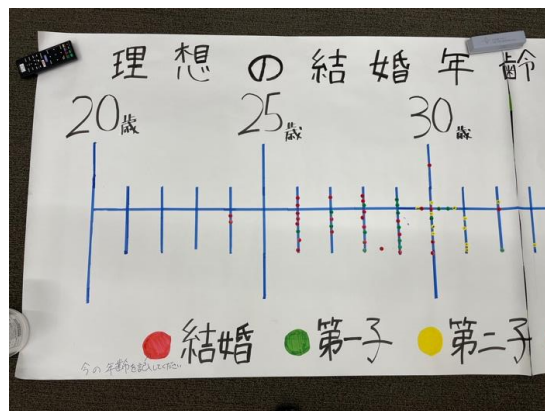
- ① 若い世代の方たちへ不妊・不育症を知ってもらい、「他人ごと」ではなく「自分にも起こりえる身近なこと」として気づいてもらうきっかけを作りたい。
- ② 「不妊・不育症についてもっと早く知りたかった」という不妊・不育当事者の声を、若い世代の人に届けることで、将来同じような思いをする人を少しでも減らしたい。

展示テーマ「子どもが欲しいと思った時に知っておきたいリアル」

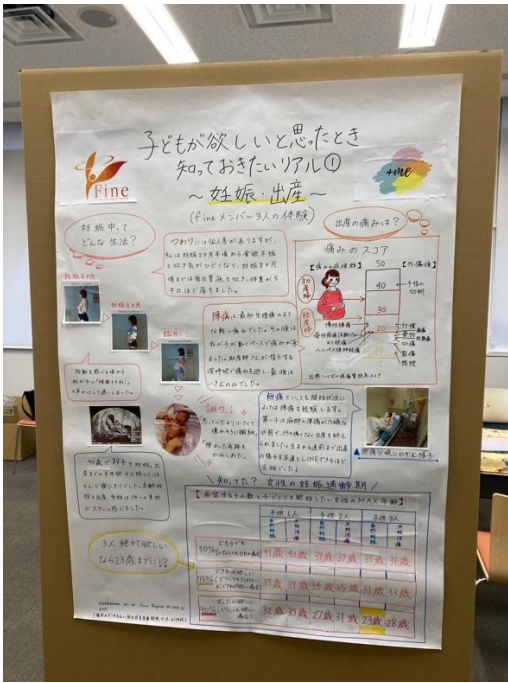
- ① 妊娠を考えたときから出産するまでの一連の流れについて統計情報・体験談を展示し、そのうちの一部として不妊・不育情報、里親や子供のいない人生の体験談を取り扱いました。
- ② 「展示内容をみる前と後で、妊娠出産に対する意識・行動を変化させてもらいたい」という思いから、妊娠中のお腹のサイズが変化する様子の写真、実際に使用した自己注射器の写真、里親や子供のいない人生を選んだ方の体験談など、よりリアルな状況が伝わる情報提供を行いました。
- ③ 展示ブース来訪者に、自身が考える「理想の結婚年齢」「第一子出産年齢」「第二子出産年齢」をシールで貼り付けるワークショップを実施。自身と周囲や、リアルを伝える展示内容とのギャップに気づいてもらえるような工夫を凝らしました。



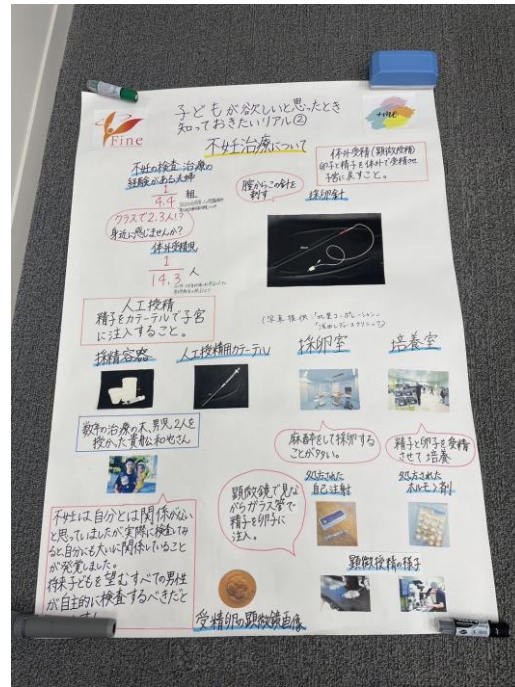
会場の様子



ライフプランワークショップ



妊娠や出産のリアルを伝える展示



不妊治療のリアルを伝える展示

<出展概要>

- 妊活、妊娠、不妊、出産、里親、子供のいない人生に関する体験談や統計情報、実際の写真展示
協力：北里コーポレーション様、浅田レディースクリニック様
- ライフイベントを考える簡単なワークショップ
- プレコンセプションケア※セルフチェックシート配布
協力：国立成育医療研究センター内プレコンセプションケアセンター
※ 将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと

来場者数とチェックシートの配布枚数

- ① ブース来場者数：約 200 名
- ② プレコンセプションケアセルフチェックシート配布枚数：約 50 枚
- ③ 来場者の感想（一部抜粋）
 - 「とても興味深い話題だったため、模造紙の写真を撮って帰った。」（高校生）
 - 「不妊治療は大学生にとってはまだまだ先のことのように感じるかもしれないが、若いうちからこういった大変さについて知っておくのはとても大事なことだと思う。」（中年女性）
 - 「あまり不妊治療について知る機会がない。「大学生がこういうことに興味を持って活動していることを知ってすごいなと思った。」（高校生の母親）

■NPO 法人 Fine (ファイン) について

不妊が特別なことではなく普通に話せる社会の実現に向けて、不妊治療を受けることや夫婦二人の道を選ぶこと、自然に授かる日を待つこと、養子や里子を迎えることといった不妊に関わるすべてのことを「ごくありふれた普通のこと」にするために、現在・過去・未来の不妊当事者へのサポートに加えて、国への提言、企業や行政、広く一般の人たちに向けて不妊の啓発活動を行なっています。



(活動ロゴ)

本プロジェクトは、2021年12月に実施した若年層向けにライフキャリアを発信するInstagramプロジェクト「+me (プラスミー)」(https://www.instagram.com/_plusme_/)に続く2回目の若年層向けプロジェクトとなります。

【本ニュースレターに関するお問い合わせ、画像提供の依頼、取材の依頼は下記までお願いいたします】

特定非営利活動法人 Fine

所在地 〒134-0052 東京都江東区木場5丁目6-1サニーコーポ K201

担当: 広報

電話: 03-5665-1605 Email: finekouhou@j-fine.jp